日心第74回大会（2010）
第2日　9月21日（火）　15：30～17：30　C302

WS078　動物学習研究の方法論を考える
－条件づけ研究事始－

企　画　者　関西学院大学　中島　定彦
企　画　者　専修大学　澤　幸祐
司　会　者　関西学院大学　中島　定彦
話題提供者　関西学院大学　宮田　洋
話題提供者　愛知大学　浅野　俊夫
指定討論者　立命館大学　藤　健一
指定討論者　名古屋大学　川合　伸幸

概　要

昨年度開催したワークショップ「動物学習研究の方法論を考える」は多くの聴衆を得て、内容的にも好評であった。そこで、今回は第２弾として、温故知新をテーマに、伝統的な研究手法が作り上げられた背景や事情を考えてみたいと思う。動物学習研究の方法論を考えるに当たっては、この分野を切り開いた研究で用いられた諸技法を再吟味する必要があると思われるからである。話題提供の講師として、イヌとヒトの唾液分泌条件反射について宮田洋先生に、ハトのオペラント条件づけについて浅野俊夫先生にご登壇いただき、実験パラダイムや装置の解説をしていただく。装置製作の苦労や思わぬ発見（セレンディピティ）などについても紹介いただく予定である。条件づけ研究を行っている現役研究者にとっては、自らの足場を見直す機会になるだろう。また、心理学研究の緒についた若手にとっても有益な学びの時間となるだろう。